

第1章

Iwaki R.C.50th

クラブの歴史〔概要〕

〈1年～30年〉 1953～1983

第1代～10代の概況

第1代 諸橋久太郎会長（野沢武蔵幹事）1953～1954



創立当時の記念写真

平ロータリークラブの結成相談会は野崎喜八郎、猪狩四郎、野沢武蔵各会員が世話人となり5月12日レストラン・ブラジルにて行われた。東京クラブから柏原孫左衛門氏、郡山クラブから金森五郎氏が出席した。

結成準備会は5月21日（ブラジル）世話人は猪狩四郎、野崎喜八郎、野沢武蔵、坂本昌蔵、新田目五郎会員ら出席。この時に現在の例会日（木曜）会場（ブラジル）国際ロータリークラブの綱領、

規約が承認された。

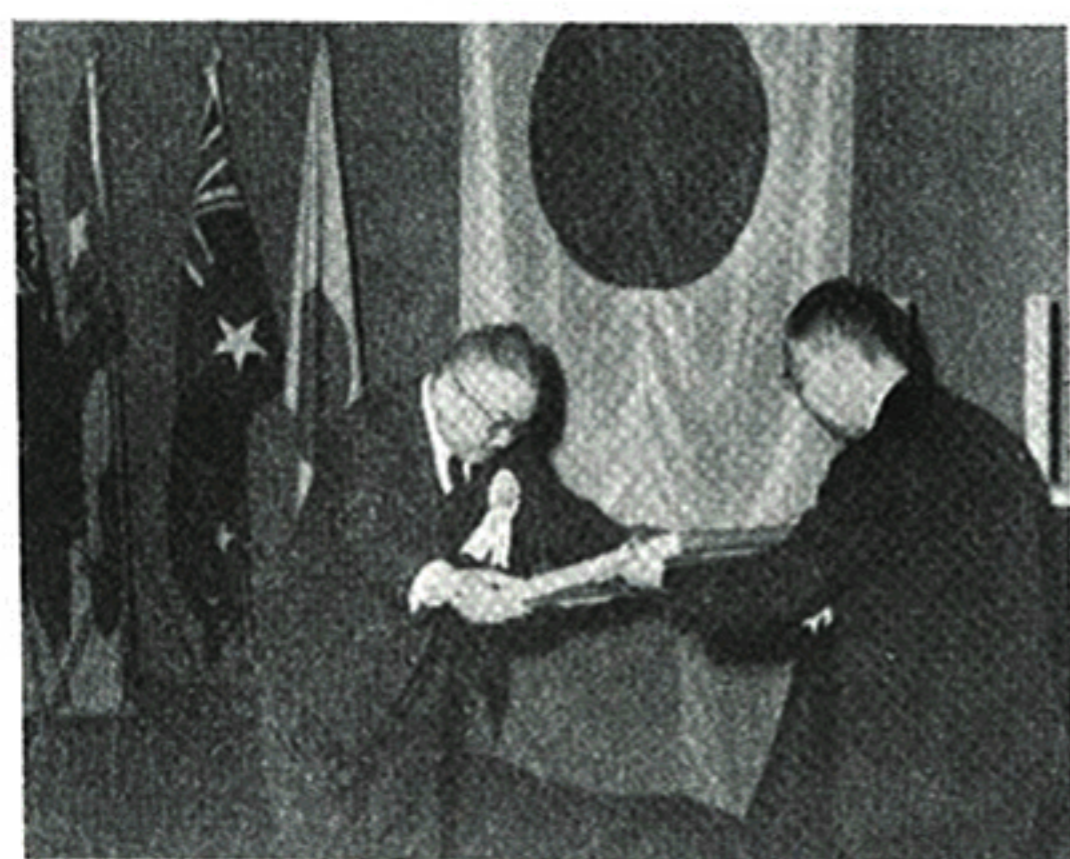
6月18日にクラブ結成記念式典が行われ、役員には会長 諸橋久太郎、副会長 野崎喜八郎、幹事 野沢武蔵、会計 坂本昌蔵、S・A・A坂本清之助の各会員が選任され、定款、細則なども可決された。

国際R I本部から'53年6月29日に加盟承認される。

年次大会は9月29日・30日札幌市で開かれた。

'54年3月25日宮脇ガバナー公式訪問。この際誰も出迎えるものもいなかったという不手際で悪名!?をさらす。

認証状伝達式（チャーターナイト）'54年5月6日・7日、平市公会堂で五市市長も出席した。



認証状を受ける諸橋会長

第2代 諸橋久太郎会長（野沢武蔵幹事）1954～1955

柳瀬省吾ガバナーより新年度の活動目標として四つのテストを指示された。

京都での10月17・18日第60・61地区合同（ロータリー創立50年）の年次大会に野崎喜八郎副会長をはじめ山県、岡田、飯野ご夫妻、阿部、坂本、野内、野沢の皆さんが出席した。

柳瀬省吾ガバナーの公式訪問は12月15日・16日。会員数は55年6月末で42名であったが、出席率は悪く何れの月も地区平均ラ

インを下廻っていた。

R I 50周年記念式典が3月3日平市公会堂で行われ、記念事業として新川堤に桜苗600本植樹。

第3代 野崎喜八郎会長（岡田健治幹事）1955～1956

この年より全国が4地区に分割され、平RCは第60区に所属。ガバナーは東京クラブの小松隆氏。

第60地区の年次大会は新潟市で開かれる予定であったが、10月1日の大火で東京に変更（10月10日・11日）。クラブ会員1人500円の見舞金。大会では100万円見舞金を決議した。

小松隆ガバナーの公式訪問は2月29日。6月9日には県下4クラブ連合会が裏磐梯新観光ホテルで。

第4代 萩原義雄会長（横山徳男幹事）1956～1957

伊藤文吉ガバナーの公式訪問は9月12日。このガバナーより「月信」横書きとなる。

地区大会、10月5日から3日間仙台市で行われた。4地区が5地区に分割。東北、北海道の旧60区が第350区となる。

R I 50周年記念事業として、6号線ロータリーに記念塔を建設。4月25日除幕式。原型の彫塑は本多朝忠氏。



ロータリー記念塔を囲んで

第5代 秋竹守一会長（山崎善兵衛幹事）1957～1958

当年度から第350区に改編された。

年次大会は9月27日から3日間、東京都立体育館で350区・355区（関東各県と山梨・新潟）・360区（山梨・新潟を除く中部地方7県）で開かれた。参加者2,300名、首相官邸のレセプション、皇居拝観など行った。

岡田情報委員長の発案で、10月13日に会員とその家族にロータリーアンケート実施する。ガバナー称讃、「月信」に掲載される。

10月30日に佐藤幸三ガバナーの公式訪問。

6月、会員数が待望の50名となる。

第6代 山崎忠兵衛会長（松本勇幹事）1958～1959

小樽市で8月17日から3日間、年次大会開催。ガバナーは函館クラブの伊部政次郎氏。平ロータリークラブからは山崎忠兵衛、野崎喜八郎、浜崎善三郎、松本勇会員等出席した。

平ロータリークラブ創立5周年を迎える。記念式典は10月9日常磐交通三階ホールで行われた。当日は詩人の草野心平さんの講演が行なわれ、万場の喝采を受けた。また愛の鐘建設資金とし市に15万円贈呈する。会員各1000円徴収。

11月15日には、福島・宮城・岩手の3県インターシティフォーラムが仙台市で開かれた。



城山の「母が待ってる愛の鐘」

第7代 浜崎善三郎会長（阿部順吉幹事）1959～1960

年次大会は10月12日から3日間、福島市公会堂で開かれた。県内での大会は初めてで、大会委員長に岩永幾太郎氏、幹事に大原嘗一郎氏（福島）。市内は歓迎一色につつまれた。

真崎健夫ガバナーの公式訪問は4月22日。協議会は19時より開かれた。

なお、ブラジル改装の為、例会場が2月18日～4月7日まで駅前不二屋食堂に変更された。

東北南部三県（福島・宮城・山形）のインター・シティ・フォーラムは11月16日山形市で。

皇孫浩宮誕生を祝し、会員1人1,000円、計53,000円を寄託。

6月29日、55周年を記念して「平市時刻を守る会」を提唱、関係機関の賛同で設立した。「平時間」の矯正に取り組むことになった。

第8代 西脇三樹雄会長（加藤武久幹事）1960～1961

350区が再び分割、北海道が350区に残り、東北6県が新たに352区となる。

佐々木孝三郎ガバナーの公式訪問は8月24日行われた。

9月28日・29日東京で4地区連合の年次大会が開かれ、参加者は3,600名に達した。

4月27日には小名浜クラブ仮結成式。会場「新よね」で行われた。

第52回国際大会は5月28日から5日間にわたり東京晴海で開催された。日本から16,000名、外国から7,000人の参加があり、史上最大の盛会となった。

第9代 岡田健治会長（谷口益雄幹事）1961～1962



小名浜、勿来両クラブの伝達式

第352区年次大会は盛岡で開かれた（9月）。参加者600名。佐藤武夫ガバナーの公式訪問は11月15日に。

勿来クラブが12月に結成され、3月1日に承認された。

6月3日小名浜クラブとともに合同チャーターナイトを小名浜市民会館で行う。

子供クリスマス大会は平クラブ主催、平市連合婦人会の協賛で開かれ、チャーターナイトにつぐ盛事であった。

その他、RC創立57周年を記念し、会員の職場の優良従業員を3月1日の例会で記念品を贈呈して表彰する。また野口英世顕彰会に協力した。

9月から会費2,500円になる。

第10代 飯島隆俊会長（諸橋鐵二郎幹事）1962～1963

第352区年次大会は10月1日・2日仙台市で開かれた。

手島周太郎ガバナーの公式訪問は12月13日。例会後、ガバナー・会長・特別代表ら内郷クラブの創立総会に出席した。

創立10周年記念式典（6月18日）。

内郷クラブが誕生する。メンバー26名。12月13日結成、1月23日承認された。初代会長に黒木喜一氏。

本年国内クラブ数525C、22,924名、県内では福島西、二本松、須賀川、会津若松北などが結成され、14クラブとなる。



内郷クラブの結成式

第11代～20代の概況

第11代 飯野盛男会長（佐々木芳弘幹事）1963～1964

8月22日に県下親善ゴルフ大会で平クラブ優勝。8月29日の臨時理事会で入会金13,600円、9月からの会費3,000円とすることを決める。富岡クラブ、原町クラブ発足。

年次大会は10月17日札幌市で開かれ、野沢会員に10年100%出席のダイヤモンドバッジが贈られた。

唯一の外人会員ロス神父が帰国のため退会。

年末恒例の例会は家族会も兼ね、出席会員53名、家族102名の大賑わいで、詩吟やハーモニカ独奏、それに親睦会メンバーによる「忠臣蔵」など上演、盛況であった。

村上正徳ガバナーの公式訪問は1月22日。

相馬クラブの創立総会4月14日。

第12代 加藤武久会長（大平伊左雄幹事）1964～1965

小川芳勝会員が「国際注文服コンクール」でスイス理事長賞を獲得（8月27日）された。

10月11日の原町クラブ認証式に34名出席。

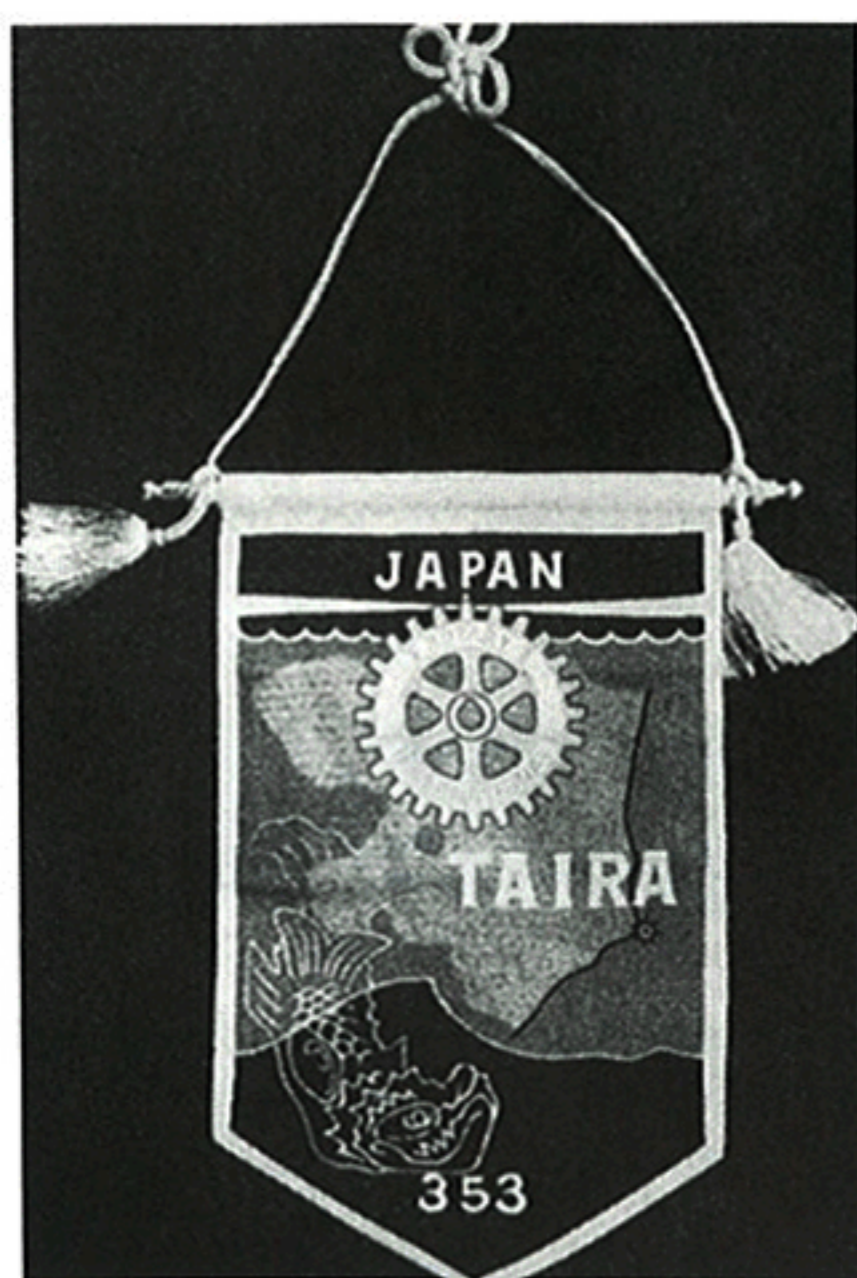
11月19日には斎藤堅治ガバナー公式訪問。

クラブ活動についての講評と併せて「その土地にマッチした日本的なクラブを作るべきだ」と助言された。

新バナー製作のため丸山勲会員ほかに委嘱。

R I 創立60周年を記念し、内郷館で平・常磐・小名浜・勿来・内郷の5クラブ合同例会を開く（3月5日）。

野崎喜八郎、松本勇、坂本行蔵、諸橋富弥の各会員、ヨーロッパに旅立つ（5月13日）。



平RCの新バナー丸山勲氏の苦心の作。

第13代 長嶋幸一郎会長（柏原英介幹事）1965～1966

丸山勲会員などによるクラブのバナー図案、半年ぶりに完成（7月29日）。豊間の灯台、水平線、平の形、ズリ山、海と空を組み合わせたもの。

8月12日に副会長丸山勲会員の転出にともない、後任副会長に伊藤親雄会員を選出した。

6号線ロータリーのキューピット像を平市民会館前広場に移送することを決める（9月9日）。

飯島隆俊氏、初代の分区代理に。

I.C.G.F.磐城市民会館で開催。

三沢市大火で5市RC会員1人当り300円拠出（1月20日）。

ハワイアンセンターでの5C合同例会（2月23日）。

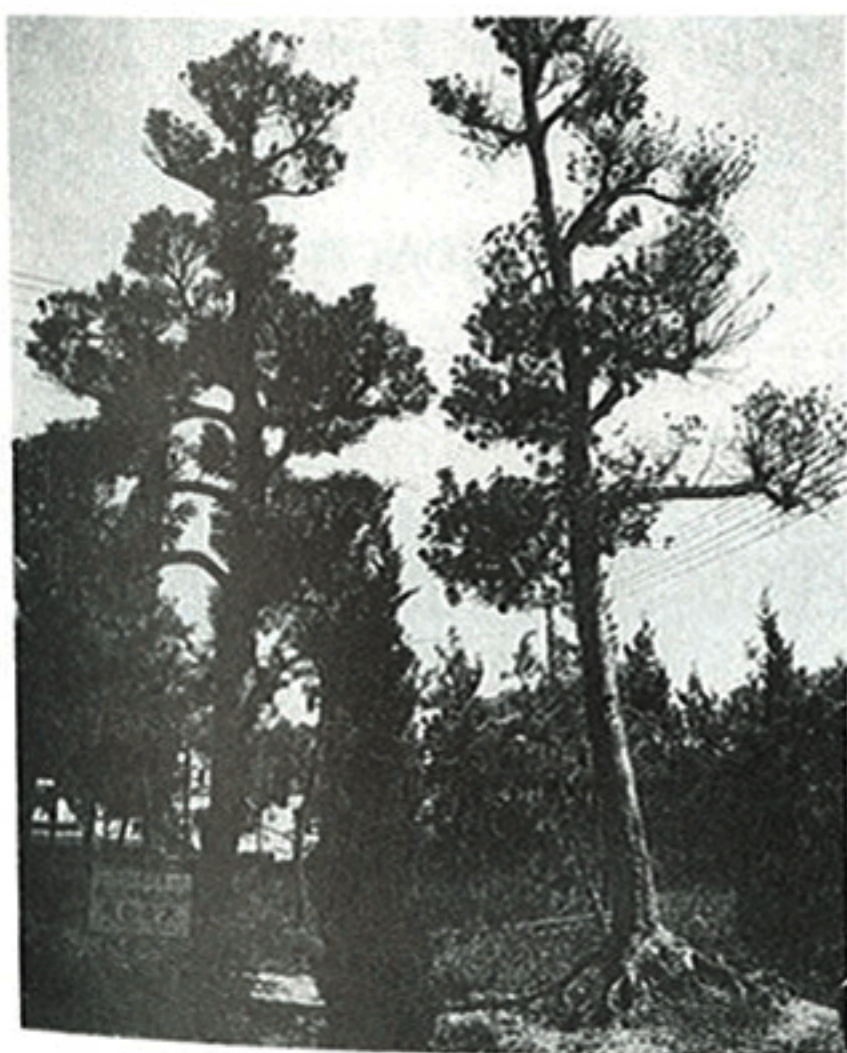
野崎喜八郎氏デンバー国際大会に出席。

第14代 伊藤親雄会長（鈴木喬二幹事）1966～1967

野崎喜八郎氏デンバーで開かれたRI世界大会に出席した状況報告（7月7日）。大和田市長、「新産都市の構想」について卓話（9月1日）。10月6日に新装成った市民会館前で、キューピット像除幕式を行った。10月13日には玉手副会長退会に伴う補充で勝田敏治氏を選任した。兼子俊一ガバナーの公式訪問（2月9日）。東クラブ結成に伴い、宮川、久野、柏原、大津賀、渡辺の5氏移籍。I.C.G.F.平Cホストで平市民会館で実施。当時は実行委が組織されず、会長幹事で一切運営した。4月1日には秋田市でインターシテイミーティングが開催された。分区代理、鈴木親太氏（小名浜クラブ）。

第15代 勝田敏治会長（坂本行蔵幹事）1967～1968

9月22日から3日間秋田市で第353地区年次大会あり、勝田会長、飯島特別代表らが出席した。公式訪問は10月26日。安斎徹パストガバナー（渡辺綱彦ガバナー病気のため）より全員協議で講評を聞く。11月16日には衆議院議員、田畑金光氏「沖縄を視察して」の卓話。社会奉仕（荒井委員長）冬休みを利用「安全運転のお願い」のハガキを、市内児童からドライバーに出して貰う（12月）。これより社会奉仕の交通安全運動が始まる。クリスマス家族会東クラブと合同実施。これも始めてであった。平クラブ創立15周年記念式典を市民会館で挙行（6月3日）。記念事業は市民会館前に「モチの木」を植樹。



平市民会館の庭に植樹した「モチの木」

第16代 北村郁三郎会長（堅田誠一幹事）1968～1969

分区代理、勿来C藤の木会。8月中例会場を、平信金ホールに移動。



塩屋崎荘で研修する会員と平RCロータリー

磐高3度目の甲子園出場。勿来Cホストで、浜通り8クラブの社会、国際、会計3部門の委員長会議開かれる(10月26日)。秋の家族会、新装成る岡田乳業小川工場で芋煮会(11月10日)。これは初めての会合。因みに、この時の各クラブ年会費は次の通り。原町50,000円、小名浜42,000円、相馬、勿来、平東36,000円、内郷40,000円、平、常磐48,000円。

東ヶ崎RI会長の主催する60回年次大会はハワイで(5月25日)開かれたが、飯島、野崎、岡田各会員らが出席。年度末、家族会を薄磯海岸塩屋崎荘で開催。快晴に恵まれ大汐の磯遊びに歓を尽す。

第17代 山崎善兵衛会長(諸橋富弥幹事) 1969~1970

長い歴史の日本勧業銀行平支店が廃止(10月)。銀行関係メンバーが1人へる。たまたま勧銀の国分公次氏は、会計担当で、銀行業務が富士銀行に引き継がれるのと一緒に、会計も富士銀行蓮見支店長に移る。

地区大会は9月28日会津若松市で開かれた。参加総数は900人。当クラブから17名参加した。2月22日のいわき民報社全焼により、当クラブ事務局と例会場が類焼。例会場は大黒屋デパート5F森永レストランに、事務局はいわき民報社仮社屋に移る。直後に開かれたRI創立記念日合同例会が、平クラブに対する見舞例会の如くなる。

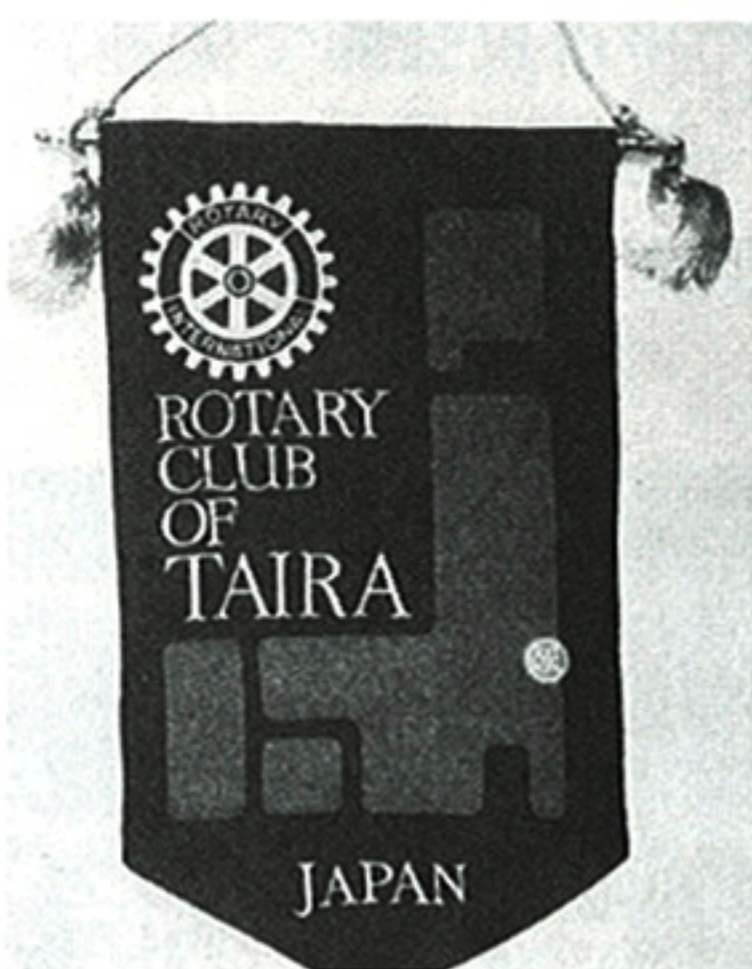
4月15日には平ローターアクトの発会式が行なわれる。

浪江クラブ、富岡クラブ発足して、合同チャーターナイト開く。野崎喜八郎さん、国際大会出席、エバンストンにて認証状の再交付を頂く。会員名簿(家族を含む)が、1年がかりで完成。

第18代 野沢武蔵会長(神谷光一郎幹事) 1970~1971

7月22日佐藤民二郎ガバナー公式訪問。飯島隆俊さん、ガバナーノミニの推選(8月20日)。国際奉仕(岡田委員長)の提案で、「ルーマニアの大洪水とペルーの大地震」に50ドルずつのきよ金を決定、大使館を通して贈る。F.M.C.合唱団の渡米に参加した、平東クラブ石河清さん卓話。チャーターメンバーであり、第2代の会長でもあった野崎喜八郎さん、東京転住のため退会。

前年から1年がかりのローターアクトクラブが発足(4月15日)する。地区内2番目で、しかも女性のみは初めて。分区代



第4回目のバナー誕生

理は常磐、松本久吉氏。会長野沢氏、一度もブラジルでの例会を司会出来なかった。

バナーが火災で焼失したので新たに建築内装のデザイナー高橋彰さんに委託。第4回目のバナーが誕生した。

第19代 松本勇会長（根本義男幹事）1971～1972

松本勇会長初例会は、新装成ったいわき民報ビル・レストランブラジル（7月1日）。会報（諸橋委員長）週報の空欄をPRに利用、ニコニコをうるおす。岡田出席委員長は、悪い順の出席番付を実施。9月23日には棟方志功と郷土出身の詩人草野心平が来訪、あいさつあり。

小名浜、勿来クラブの創立10周年式典（10月17日）、25名出席。松崎栄さん、東京出張中に急死する。諸橋久太郎さん財団に1,000ドル寄附、平C最初のポールハリスフェローとなる。クリスマス家族会は、ことぶき会館で、ローターアクト認証状の伝達も行われた。第35地区インターシティ・ミーティングが4月1日に常磐ハワイアンセンターで行なわれた。飯島隆俊氏ガバナーノミニーの年次大会壮行会。地区協議会は平東クラブがホスト、市民会館で開く。野崎喜八郎会員ポールハリスフェロー。根本さん渡英。



飯島ガバナーノミニーのあいさつ

第20代 諸橋鐵二郎会長（阿部乙之幹事）1972～1973

飯島ガバナーの年次大会の年。オハイオ合唱団来日、平公演のためホームステイあり。親睦委初企画のボウリング家族合同例会開催。

第353地区大会は地元平で（10月3日・4日）。大会終了後、地区大会反省の夫人を交えた特別例会を開く。野沢さんの努力で、地区大会の反省座談会が、「ロータリーの友」に載る。諸橋久太郎さん病気のため12月退会、2月に入り死去する。

2月28日に飯島ガバナー、ホームクラブ公式訪問。1年余の英国留学より、根本さん戻る。諸橋会長夫妻、スイスのローザンヌRI大会に出席。6月28日には平ロータリークラブ創立20周年記念式典を「しゃくなげ会館」で開いた。

第21代～30代の概況

第21代 竹林貞吉会長（滝口安正幹事）1973～1974



あぶくま洞での家族会

20周年記念式典のあとだけに“楽しいロータリー”にしようという竹林会長の方針で、一年間を過ごした。内郷クラブ（保田会長）と内郷館で納涼例会（8月）平東クラブ（蓬来会長）と大黒屋屋上で月見合同例会（9月）。

地区協議会（6月）地区大会（10月ともに鶴岡市）に役員一同で出席。家族例会を重視し、あぶくま洞、松川浦で親睦を深める。早坂源四郎ガバナーの公式訪問は9月6日。

この年次に、馬目勝次郎、北村郁三郎、野崎秀幸の三長老が逝去された。

第22代 石島公德会長（金子益三幹事）1974～1975



松川浦で潮干狩りを楽しむ一行

石島会長の就任時の所信は次の4つであった。

- ①“ロータリー精神を奮い起こせ”をふまえてその実践。
- ②公式訪問に備え充実した各委の活動。
- ③例会に出席する事。
- ④会員の拡大を計る。

以上の基本方針を明示され、実行の一年であった。また、大原ガバナーの理解と加藤分区代理の指導で、市内7クラブに各々“いわき”を冠する提唱も年度末の6月にR I本部より認証状が届いた。

国際ロータリー創立70周年に当り、市内7クラブ合同例会のあと、NHK解説委員長緒方彰氏の講演会が催され、有意義な成果をあげることが出来た。

第23代 荒井政工会長（小川芳勝幹事）1975～1976

ローターアクトクラブの第2回地区大会が9月6・7日、平ロータリークラブがスポンサーとし当地で開かれた。高坂知甫



平ローターアクトホストの地区大会で

ガバナーを迎え、各地から170名の参加により盛大に挙行され、大きな成果をあげた。

地区大会（山形市）では会員増強クラブ第6位として表彰された。

11月26日には高坂ガバナーの公式訪問を受ける。年次中、加藤武久会員をガバナーエレクトとして推薦。

年度末には会員数が72名の大台に。

第24代 佐々木芳弘会長（山崎慶一幹事）1976～1977



浜通りの全クラブ集会

クラブの運営のモットーは「リラックスした例会、実りあるクラブ運営」を掲げてスタートした。3大奉仕部門はそれぞれの活動を展開したが、なかでも国際親善部門では、8月にオハイオ合唱団約100名が2度目の遠征公演にやってきた。

地区レベルではマッチドクラブ計画が提唱され、当クラブはアメリカのテネシー州ナッシュビルRCと友好を計る為、岡田（健）会員が同クラブを訪問。年があけるとイギリスからG.S.E.グループが分区内に。工場や港湾など視察した。

年次大は札幌でR I 会長夫妻のご臨席で盛大に行われた。また加藤武久さんが急遽次年度のガバナーに。

第25代新田目五郎会長（伊藤昭一幹事）1977～1978



地区年次大会平市民会館で。会員・夫人・アクトの皆さんご苦労さま!!

大変多事な一年であった。加藤武久会員がガバナーに就任され、そのホームクラブ会長という重責を負うことになった。事務局長の鈴木広永さんが倒れられ、途方に暮れたが、会員各位のご協力、切り抜けることが出来た。

11月8日、9日の両日平市民会館で253地区年次大会があり、この大会のホストクラブを務め、盛会であった。

6月15日には創立25周年記念式典（ことぶき会館）を開催した。

社会奉仕委員会では丹後沢公園に桜苗木100本植樹。

国際ロータリー東京大会に47名の参加、鈴木事務局長の引退などがあった。

第26代坂本行蔵会長（吉村昭三幹事）1978～1979

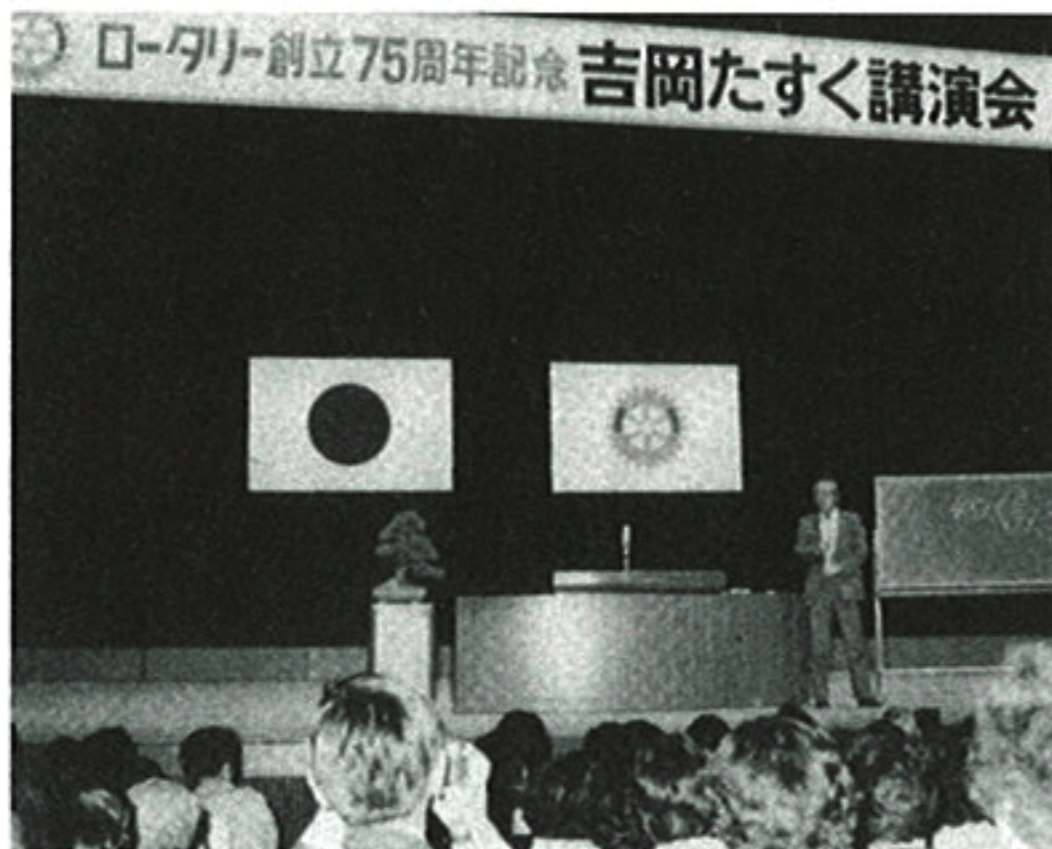


とれたてのマツタケいい香り

平穏無事な年度であったが、その中で印象に残ることの1つは、当クラブ初めての行事、屑入れの空き缶作り、吸い殻入れの缶作りに軍手とペンチで行った事。その2は玉山松茸狩り。新鮮な山の空気と香気あふれる松茸の味は絶品。その3は100%出席が創立26年にしてはじめて達成。その4は例会前のスキップ体操と肩たたき、小学唱歌の合唱などである。

なおR Iローマ世界大会に6名、R Iアジア大会に14名参加した。飯島隆俊会員が米山記念奨学委員会の特別功労者となる。

第27代堅田誠一会長（高尾祥一幹事）1979～1980



好評だった吉岡たすく氏講演会

国際ロータリー創立75周年に当り、一年の行事が、これに集約された。創立記念日の2月に吉岡たすく氏を迎え、平市民会館大ホールで講演会を行った。

記念事業としては、いわき7クラブ合同ミーティングのホストを務める。木田職業奉仕委員長による「ホント75」職業奉仕事例集が完成。また親睦活動として6月28日家族ぐるみの大運動会が初めて行われた。

その他シカゴ国際大会に9名参加、平三中新校舎に「花水木」を植樹、W.C.S.へ協力「アジア100円献金」の実施、平リトルリーグ発足で、助成金を贈呈した。

会員増強も神谷委員長の努力により75名を目指し、それをクリアすることが出来た。

第28代吉田仁会長（猪狩武久幹事）1980～1981

いわき平ロータリークラブ初の財団奨学生に水野谷敦子さんが合格した。

ブラジル国際大会に酒井睦雄、鈴木喬二両会員が参加。また



ホームステイのママも参加。田辺明美さんのお別れ例会で涙…涙…。

4月11日にはローターアクト10周年記念式典が労働福祉会館で行われ、記念講演者は坂本一さん。氏は脊髄損傷者で、「私の歩んだ道」と題し、苦勞に満ちた人生を淡々と語り、会員の涙をさそった。国際障害者年に当り、それにふさわしい内容であった。

その他ブラジルから交換学生としてホームステイの田辺明美さん、東北大学病院で火傷治療の手術が成功した。

第29代神谷光一郎会長（島田晋甫幹事）1981～1982



ロータリー歌舞伎上演

ロータリークラブの年次大会が9月26日郡山市で開催され、当クラブは米山功労クラブとして作田正治ガバナーより楯を戴く。

次に分区行事（11月4日しゃくなげ会館）ではI.G.Fのホストクラブとなり開かれた。参加者230名、新田目実行委員長を中心に過去に例を見ないスムーズな運びであった。

いわき・相双両分区親善ゴルフ大会は4月22日平C.Cで150名が参加、当クラブは団体優勝した。

その他年忘れ家族会で久々ロータリー歌舞伎が復活、白浪五人男を演じ、喝采を受けた。

会員数80名の大台に。

第30代阿部乙之会长（鷺佳弘幹事）1983～1984

鶴岡市で地区年次大会（10月2・3日）が開かれ、飯島・加藤P.G.が20年間無欠席で表彰を受け、また米山記念奨学会寄付優秀クラブとしても表彰された。

11月には30周年記念史編集委員が決まりスタート、3月末に「30年の歩み」として発刊することが出来た。

4月10日には創立30周年記念式典（実行委員長諸橋鐵二郎氏）が大黒屋しゃくなげ会館で行われた。内容的にはお祭り騒ぎをさけた質素な中に会員家族ともども喜びを分かちあうことが出来た式典であった。